

# エビデンスに基づく議論ができる議員へ ～実践者から学ぶRESASの活用～

現在、全国の議会で「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について議論が行われています。しかし、エビデンスに基づいた検証や今後の計画づくり等へ活用するため創生本部が提供している**地域経済分析システム「RESAS」**を活用した事例はほとんど見られません。

その理由として、客観的データを活用した政策立案や議案のチェック等が議会ではまだ未成熟である点が挙げられます。そこで、まずは議員自身がエビデンスを活用した政策立案を経験し、自身のものとして身につける必要があります。

今回は、**元大手コンサルタント、現在は自治体の地方創生担当の講師から直接学ぶ機会**をご用意しました。

- **対象** データを活用した質問や議論の視点を取り入れたい議員
- **講師** 米山知宏（早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員）  
中村 健（早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長）
- **日時** 2016年5月14日（土）11:00～17:00
- **場所** 早稲田大学マニフェスト研究所 会議室  
（〒103-0027 東京都中央区日本橋1-7-12 国土施設ビル3F）
- **定員** 10名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- **参加条件** PCを持参
- **参加費** 15,000円
- **主催** 一般社団法人地域経営推進センター
- **協力** 早稲田大学マニフェスト研究所

## POINT 1 元コンサルタント、現自治体地方創生担当から直接学べる

（講師略歴）東京工業大学院を修了後、三菱総合研究所研究員、東京大学公共政策大学院客員研究員を経て、現在は、自治体で地方創生を担当。早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員。

## POINT 2 少人数(最大10名)で、実践しながら学べる

政策立案をゴールとしています。そのため、講師が支援できる範囲での人数としています。また、課題を客観的に見たり、課題解決に向けた施策の根拠をデータを基に構築していく実践的な内容です。

## POINT 3 受講後にも引き続き学べる

受講者と講師による非公開グループをFacebook上に設置し、一般質問やデータ分析方法の共有・相互レビューを行う場として活用します。

## 《プログラム》

※予告なく変更する場合があります。どうぞご了承ください。

<b>イントロダクション</b> 11:00-	まずはRESASの使い方の概要を解説します。
<b>ワークショップの進め方 説明</b> 11:30-12:00	午後のワークショップに向けたグループ分けやテーマ設定などをします。
<b>ワークショップ実施</b> 12:00-14:45	RESASを活用して、実際に政策提言を検討します。 政策立案に役立つ、他の統計データの活用方法もご紹介。
<b>中間プレゼンテーション</b> 14:45-15:30	この時点で中間発表をして頂き、講師からフィードバックを行います。
<b>政策のブラッシュアップ</b> 15:30-16:15	最終プレゼンテーションに向け、再度検討。
<b>最終プレゼンテーション</b> 16:15-16:50	政策提言の検討結果を発表して頂きます。
<b>クロージング</b> 16:50-17:00	勉強会のまとめや、今後についての説明をします。

## 《参加ご希望の方》

参加希望の旨と下記の情報をメールにてご連絡ください。

①氏名 ②ご所属議会名 ③在職期数 ④ご連絡先（携帯電話）

メール  
送付先



**mani@maniken.jp**

### 【ご注意】

- ・定員になり次第、お申込を締め切らせていただきますので、お申し込みの前に事前にご確認ください。
- ・お申込後、参加費のお振込みをお願いいたします。

お問い合わせ：TEL 03-6225-2531(担当：永尾、中村)